



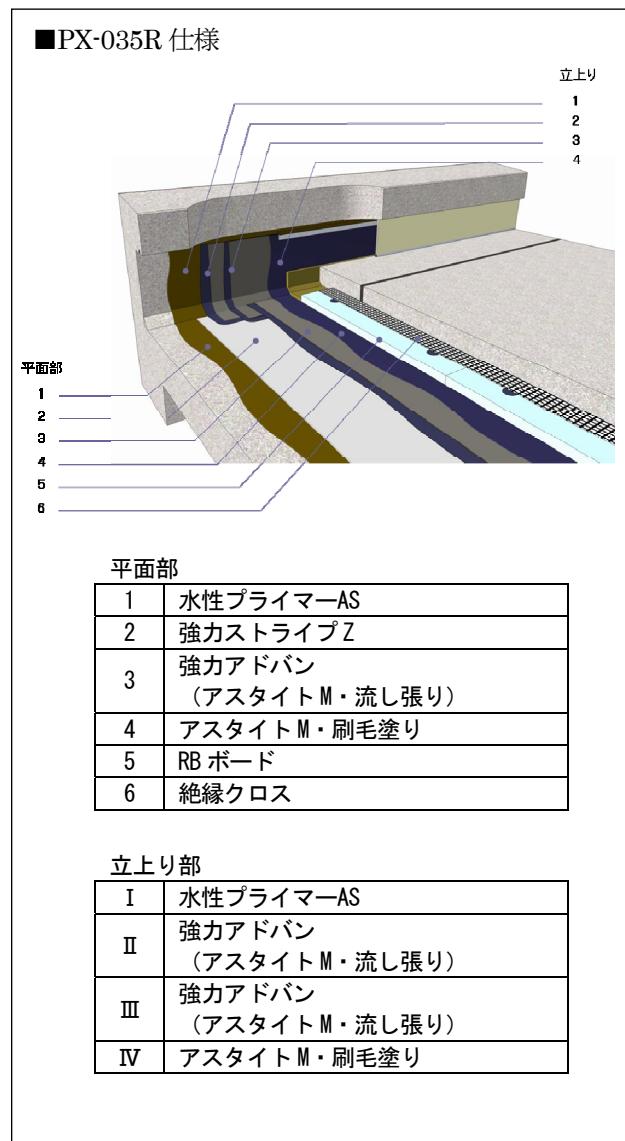
## 建設技術審査証明事業(建築技術) 審査技術概要シート

建設技術審査証明事業実施機関  
一般財団法人 日本建築センター  
The Building Center of Japan

[審査証明番号／有効期限]	B C J-審査証明-30／2031年1月16日
[技術の名称]	施工時環境配慮型アスファルト防水工法 「ストライプ&クリーン工法（冷熱併用省力化工法）」
[依頼者（審査証明取得者）]	田島ルーフィング株式会社

### [技術概要]

本工法は、一般平面部の第1層目として、自着層を部分的にストライプ状に設けた特殊な構成の下張り専用の改質アスファルトシートを冷工法（自着工法）で施工し、第2層目のルーフィングを低発煙・低臭性の防水工事用アスファルトによる熱工法にて施工する、冷熱併用型のアスファルト防水2層工法である。



### [開発の趣旨]

従来のアスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてアスファルトルーフィングを3～4層積層して防水層を形成する工法である。このアスファルト防水熱工法には、水密的信頼性が高い反面、次のような問題点がある。

- (1) 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙、臭気により環境上の問題が発生する場合がある。
- (2) ルーフィングを3～4層積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程数が多く作業効率上の問題がある。

本工法は、特殊な構成の下張り専用の改質アスファルトルーフィングシートと低発煙・低臭性の防水工事用アスファルトを使用した冷熱併用型のアスファルト防水2層工法で平面部防水層を形成することにより、作業工程数及び防水層の重量を削減し、さらに環境への影響の軽減を図ることを目的として開発を行ったものである。

### [開発目標および審査証明結果]

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 第1層目を特殊な構成の下張り専用の改質アスファルトルーフィングシートを冷工法で施工し、第2層目を防水工事用アスファルトによる熱工法にて施工することにより、在来工法によるアスファルト防水と同等の防水性能を有するものと判断される。
- (2) 本工法で施工することにより、アスファルトの使用量を削減し、作業・周辺環境に対する影響を軽減するものと判断される。
- (3) 在来工法によるアスファルト防水層と比較して、防水層の重量を削減すること、作業工程数の削減及び施工の簡易化により作業効率が向上するものと判断される。

### [本技術の問合わせ先]

田島ルーフィング株式会社  
営業企画部テクノサービス課  
TEL 03-6837-8880